

新開発の画像センサーとレンズで高画質画像を提供、病変の早期発見をサポート！
検査時の患者負担が少ない 経鼻内視鏡「EG-580NW」
近接撮影における観察性能を向上

新発売

平成 23 年 10 月 19 日

富士フイルム株式会社(社長:古森 重隆)は、新開発した独自の画像センサー「スーパーCCDハニカム™」と新開発レンズの搭載により、高画質画像を実現した経鼻内視鏡「EG-580NW」を、10月20日より富士フイルムメディカル株式会社(社長:平井 治郎)を通じて発売いたします。「EG-580NW」は、鼻からの挿入で咽頭反射による嘔吐感を軽減する、検査時の患者負担が少ない経鼻内視鏡の新ラインアップです。

富士フイルムは、平成14年に先端部径が5.9mmと細く、鼻からの挿入に適したしなやかさを持つ経鼻内視鏡を発売し、検診分野を含めて広く経鼻内視鏡検査の普及に取り組んでいます。経鼻内視鏡検査は、口から挿入する経口内視鏡検査に比べて嘔吐感が少なく、検査中でも会話ができることから、医師および患者の双方より、高い評価をいただき、現在、日本のみならず、アジアやヨーロッパなどでも普及しています。

今回発売する「EG-580NW」は、新開発の独自の画像センサー「スーパーCCDハニカム™」を搭載し、高い解像度を実現することで、微細な血管走行等の描写力向上が期待できます。

また、「EG-580NW」は、当社がカメラレンズの設計で培った光学技術を駆使し、内視鏡用に新開発したレンズを搭載。中心部から周辺部まで歪みを低減した画像を提供することができます。さらに、病変部に3mmまで寄ることを可能とし、従来モデルに比べて観察範囲*1を拡大。高い解像度を持つCCDとレンズとの組み合わせで画質を最適化させ、近接撮影における観察性能を向上させています。

これらの高性能な画像センサーやレンズに長年蓄積してきた画像処理技術を組み合わせることで、ノイズを低減させたクリアな画像提供が可能となり、病変の早期発見や診断精度の向上をサポートします。この他、「経口内視鏡と同等の広視野角140度」や「先端部径5.9mmの極細径」、「軽量で操作性に優れたグリップ」など、従来機種で好評いただいている特長も継続して備えています。

富士フイルムは、「EG-580NW」をラインアップに加えることで経鼻内視鏡のさらなる普及を図り、早期発見に重要なスクリーニング検査の受診率向上に貢献することを目指します。今後も、経鼻内視鏡のパイオニアとして、医師や患者のニーズに応える製品開発を進めていきます。

*1 当社従来の経鼻内視鏡「EG-530NW」の観察範囲:4mm～100mm に対し、「EG-580NW」の観察範囲:3mm～100mm。

記

- 品名 : 薬事販売名:電子内視鏡 EG-580NW、薬事認証番号:222AABZX00189000
一般的名称:ビデオ軟性胃十二指腸鏡、ビデオ軟性食道鏡
- 製造販売業:富士フイルム株式会社
- 発売日:平成23年10月20日

4. 主な特長

- (1) 新開発の画像センサーとレンズの搭載などにより、高画質画像を提供
 - ・新開発した独自の画像センサー「スーパーCCD八二カム™」を搭載、高い解像度を実現することで、微細な血管走行等の描写力向上が期待できます。
 - ・当社がカメラレンズの設計で培った光学技術を駆使して内視鏡用に新開発したレンズを採用し、中心部から周辺部までより歪みを低減した画像を提供することができます。
 - ・病変部に 3mm まで寄ることを可能とし、従来モデルに比べて観察範囲を拡大。高い解像度を持つ CCD とレンズとの組み合わせで画質を最適化させることで、近接撮影における観察性能も大幅に向上させました。
 - ・新開発の画像センサーとレンズに長年蓄積してきた画像処理技術を組み合わせることで、ノイズを低減させたクリアな画像を提供します。
- (2) 先端部径 5.9mm の極細径ながら、経口内視鏡と同等の広視野角 140 度を実現
 - ・レンズや CCD などを極細径に組み込む高密度実装技術を駆使して、先端部径 5.9mm を維持しながら、経口内視鏡と同等の 140 度の広視野角を実現しています。
 - ・2 灯式ライトガイドを採用しているため、影の出にくい明るい画像で、広い範囲を観察することができます。
- (3) 軽量で操作性に優れたグリップを採用
 - ・軽量かつ細身のグリップを採用。手の小さな方でもアングル操作ノブにしっかり指がかかり、フィット感が得られます。
 - ・手元のアングル操作にスコープ先端部が機敏に追従するなど、操作性に優れているため、医師の負担軽減に貢献します。
- (4) 分光画像処理機能「FICE」*1との組み合わせで、病変の早期発見・診断を強力にサポート
「FICE」と組み合わせて使用することで、観察対象ごとに適した波長パターンを任意に設定でき、よりコントラストの強い画像を得ることが可能。経鼻内視鏡検査でも、通常画像の明るさを大きく損なうことなく、コントラストのついた分光画像を瞬時に得ることができ、病変の早期発見・診断をサポートします。
*2 通常画像から分光画像(特定の波長で得られる画像)をリアルタイムに生成できる画像処理機能。自由に波長パターンを選択でき、よりコントラストの高い画像を得ることができる。Flexible spectral Imaging Color Enhancement の略。

5. 主な仕様:

視野方向	0°(直視)
視野角	140°
観察範囲	3~100mm
先端部外径	5.9mm
軟性部外径	5.9mm
湾曲角	UP:210°/DOWN:90°/RIGHT:100°/LEFT:100°
有効長	1,100mm
全長	1,400mm
鉗子口最小径	2.0mm

本件に関するお問い合わせは、下記にお願いいたします。

(報道関係)	富士フイルム株式会社 広報部	TEL 03-6271-2000
(お客様)	富士フイルムメディカル株式会社 営業本部 マーケティング部	TEL 03-6419-8033